



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場会社名 株式会社ムロコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 7264 URL http://www.muro.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 室 雅文  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼 (氏名) 山口 誉 (TEL) 028-667-7122  
 総務人事部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	14,386	2.8	1,841	44.3	1,998	67.6	1,500	73.9
28年3月期第3四半期	13,994	5.4	1,276	29.4	1,192	△20.5	862	0.8

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 1,210百万円(57.2%) 28年3月期第3四半期 770百万円(△22.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	242.49	—
28年3月期第3四半期	139.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	19,976	13,110	65.6	2,119.28
28年3月期	18,809	12,085	64.3	1,953.60

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 13,110百万円 28年3月期 12,085百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,263	2.7	2,148	21.1	2,307	43.0	1,778	54.6	287.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	6,546,200株	28年3月期	6,546,200株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	359,969株	28年3月期	359,934株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	6,186,249株	28年3月期3Q	6,186,303株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. その他	10
(1) 人事異動	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、11月の米国大統領選挙で共和党のトランプ候補が勝利し、大混乱に陥るかと思われましたが、上下両院でも共和党が勝利したことにより大統領と議会のねじれが解消され、思い切った政策を進めやすくなるとの思惑が広がりドル高株高が進み、またこれに前後して原油他の資源価格が上昇したこともあり、米国を中心に好調に推移しました。

一方国内経済につきましては、トランプ相場と将来的な米国金利上昇期待に伴う円安や資源価格上昇に伴う海外需要の回復、そしてここ数ヶ月は大きな波乱が無かった国内の底堅い需要に支えられ、全体的に堅調に推移しました。

しかしながら、世界的な保護主義の台頭懸念等により、現状のレギュレーションが大幅に変更される可能性が増大しており、経営環境はかつて無い先行き不透明感に満ちていると感じております。

当社グループの主要取引先であります自動車業界の当第3四半期連結累計期間の状況は、国内販売台数は3,500千台（前年同期比0.9%増）と軽自動車の落ち込みを普通乗用車がカバーして微増、輸出台数は3,525千台（前年同期比1.5%増）と前年に続き増加、結果国内生産台数は6,815千台（前年同期比0.2%増）と第3四半期連結累計期間では前年に続き7百万台割れとなりました。一方、1～9月の日系自動車メーカーの海外生産台数は、14,018千台（前年同期比4.5%増）と増加しました。

このような状況の中、当社グループの連結売上高は14,386百万円（前年同期比2.8%増）となりました。損益につきましては、国内・海外共に様々な改善が進んだことにより営業利益は1,841百万円（前年同期比44.3%増）と増加、期初よりも円安に振れたことにより経常利益は1,998百万円（前年同期比67.6%増）と増加、旧本社土地・建物等売却に伴う特別利益もあり親会社株主に帰属する四半期純利益は1,500百万円（前年同期比73.9%増）と増加となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 車輻関連部品事業

当第3四半期連結累計期間の当事業の売上高は、13,696百万円（前年同期比4.2%増）となりました。国内は普通乗用車生産が好調に推移し、既存品に加えて新機種や次期開発品の受注が増加したこともあり、堅調に推移しました。また、海外におきましても受注が増加し、前年同期より円高ペースではありますが、売上が伸張しました。

## ② その他

当第3四半期連結累計期間の当事業の売上高は、689百万円（前年同期比19.4%減）となりました。国内は連続ねじ締め機関連の売上は堅調に推移しましたが、建築部材用設備や太陽光発電関連部材の売上が低迷したことにより、大きく減少しました。海外は米国市場が堅調に推移し、現地通貨ベースでは増加しましたが、カナダドル安により円換算ベースでは減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

総資産は、19,976百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,167百万円増加しました。主な増加は現金及び預金1,018百万円、電子記録債権346百万円、投資有価証券407百万円、長期貸付金164千円であり、主な減少は受取手形及び売掛金145千円、商品及び製品156百万円、有形固定資産408百万円であります。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ142百万円増加し6,866百万円となりました。主な増加は電子記録債務2,139百万円、1年内返済予定の長期借入金69百万円、流動負債のその他238百万円であり、主な減少は支払手形及び買掛金1,341百万円、短期借入金100百万円、未払金268百万円、賞与引当金175百万円、長期借入金427百万円でありませ

(純資産の部)

純資産は前連結会計年度末に比べ1,024百万円増加し、13,110百万円となりました。主な増加は親会社株主に帰属する四半期純利益1,500百万円及びその他有価証券評価差額金の増加111百万円であり、主な減少は剰余金の配当金185百万円及び為替換算調整勘定の減少420百万円によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は65.6%（前連結会計年度末は64.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成29年2月9日に「業績予想の修正に関するお知らせ」で発表いたしました業績予想を変更しておりません。なお、予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因の変化によって大きく異なる結果となる可能性があります。今後修正の必要性が生じた場合は、適時かつ適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却費の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,855,902	5,874,007
受取手形及び売掛金	2,783,507	2,638,096
電子記録債権	1,180,291	1,526,940
有価証券	135,022	256,285
商品及び製品	656,659	499,915
仕掛品	257,565	250,065
原材料及び貯蔵品	350,526	282,583
繰延税金資産	167,973	108,679
その他	259,535	256,138
流動資産合計	10,646,984	11,692,712
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,658,556	5,312,852
減価償却累計額	△3,666,349	△3,565,968
建物及び構築物(純額)	1,992,207	1,746,883
機械装置及び運搬具	11,301,461	10,968,503
減価償却累計額	△8,998,341	△8,909,290
機械装置及び運搬具(純額)	2,303,119	2,059,213
土地	1,704,702	1,419,754
建設仮勘定	83,016	472,298
その他	4,914,485	4,863,755
減価償却累計額	△4,678,718	△4,651,516
その他(純額)	235,766	212,238
有形固定資産合計	6,318,811	5,910,389
無形固定資産	146,185	117,690
投資その他の資産		
投資有価証券	1,212,925	1,620,002
長期貸付金	17,668	182,662
繰延税金資産	87,184	46,526
その他	383,898	410,778
貸倒引当金	△4,180	△4,280
投資その他の資産合計	1,697,497	2,255,690
固定資産合計	8,162,494	8,283,770
資産合計	18,809,478	19,976,482

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,159,862	818,559
電子記録債務	400,229	2,539,545
短期借入金	300,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	714,765	784,451
未払金	725,938	457,506
未払法人税等	273,248	263,936
賞与引当金	394,273	218,751
役員賞与引当金	16,905	12,041
その他	441,866	680,548
流動負債合計	5,427,087	5,975,339
固定負債		
長期借入金	900,849	473,628
繰延税金負債	41,582	96,089
役員退職慰労引当金	20,990	19,695
退職給付に係る負債	261,896	234,674
その他	71,560	66,681
固定負債合計	1,296,878	890,769
負債合計	6,723,966	6,866,109
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,095,260	1,095,260
資本剰余金	904,125	904,125
利益剰余金	10,000,043	11,314,562
自己株式	△182,507	△182,550
株主資本合計	11,816,922	13,131,397
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	267,987	379,061
為替換算調整勘定	121,433	△299,106
退職給付に係る調整累計額	△120,831	△100,979
その他の包括利益累計額合計	268,589	△21,024
純資産合計	12,085,511	13,110,373
負債純資産合計	18,809,478	19,976,482



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	13,994,378	14,386,096
売上原価	11,052,077	10,912,580
売上総利益	2,942,300	3,473,516
販売費及び一般管理費	1,665,846	1,631,751
営業利益	1,276,454	1,841,764
営業外収益		
受取利息	4,958	10,091
受取配当金	18,264	19,937
為替差益	—	95,491
その他	53,660	54,312
営業外収益合計	76,883	179,832
営業外費用		
支払利息	17,407	15,013
為替差損	134,837	—
減価償却費	6,745	5,949
その他	2,022	1,839
営業外費用合計	161,012	22,802
経常利益	1,192,325	1,998,795
特別利益		
固定資産売却益	—	90,974
特別利益合計	—	90,974
特別損失		
固定資産除却損	5,966	5,188
特別損失合計	5,966	5,188
税金等調整前四半期純利益	1,186,359	2,084,580
法人税、住民税及び事業税	325,155	492,494
法人税等調整額	△1,282	91,979
法人税等合計	323,873	584,474
四半期純利益	862,485	1,500,106
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	862,485	1,500,106

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	862,485	1,500,106
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,507	111,073
為替換算調整勘定	△94,688	△420,540
退職給付に係る調整額	△1,236	19,852
その他の包括利益合計	△92,417	△289,613
四半期包括利益	770,068	1,210,492
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	770,068	1,210,492
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	車両関連部品 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	13,138,532	855,845	13,994,378	—	13,994,378
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,138,532	855,845	13,994,378	—	13,994,378
セグメント利益	1,574,390	120,011	1,694,402	△417,947	1,276,454

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。
2. セグメント利益の調整額△417,947千円には、報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	車両関連部品 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	13,696,226	689,870	14,386,096	—	14,386,096
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,696,226	689,870	14,386,096	—	14,386,096
セグメント利益	2,169,413	112,911	2,282,324	△440,560	1,841,764

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橋類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。
2. セグメント利益の調整額△440,560千円には、報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する情報

会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に変更しております。

なお、当該変更による当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. その他

## (1) 人事異動

## 1. 役職の異動(平成29年3月16日付)

執行役員 営業本部長 小室 勇(現 執行役員 営業副本部長)